



(公財)長浜文化スポーツ振興事業団から、
講座・教室・イベントの情報を
お届けします!

密にならずに、新しい学びを見つけよう!「音感教室」受講者募集!

音楽を楽しみたい人の依頼に応じて、音楽の専門講師がそれぞれの希望にあったレッスンをを行います。子どもから高齢者まで、個人・団体は問いません。音楽を身近に経験していただける機会を皆さんに提供します。

【対象】音楽を楽しみたい人(年齢、個人、団体は問いません)

【内容】受講者の依頼に応じた音楽教室の開催

未就学児向け：リトミックなど年齢に応じた音楽教室の開催など

大人向け：自分の技量を向上したい人、リトミック指導の勉強をしたい人などへの講習会

音楽大学受験生向けのレッスンなど

【講師】梅本 伸子、七里 一美、大瀧 真由美、中川 真由美

【開催場所】①長浜市民交流センター ②長浜市民体育館 ③長浜伊香ツインアリーナ

※①～③施設のいずれかで実施

【受講料・受講時間】受講人数、受講内容により応相談

問 (公財)長浜文化スポーツ振興事業団(長浜市民交流センター)(☎65-3366 FAX65-3368)

文スポKIDS 体力向上事業 運動のコツがマスターできる!こんなトレーニングが受けなかった! キッズ・ジュニアチャレンジ運動塾

すべての運動スポーツ基礎「走ること」「跳ぶこと」「投げること」の3つを中心に幼少年期に身につけておかないといけない「動き」を楽しみながら指導します。

- 走るコツのトレーニング(遊びの中から腕や脚の動きを身につける)
- 跳ぶコツのトレーニング(遊びの中から着地姿勢やタイミングを身につける)
- 投げるコツのトレーニング(遊びの中から体重移動や腕の振りを身につける)

【とき】10月31日、11月7日、14日、21日、12月5日、12日 各土曜日

【ところ】長浜市民体育館(宮司町)

【対象】キッズクラス(年中・年長) 9時15分～10時15分

ジュニアクラス(小学1・2年生)10時30分～11時30分

【参加費】全6回 7,200円(保険料込) 【定員】各クラス30人(先着順)

【申込み】10月3日(土) 8時30分から長浜市民体育館で所定の申込用紙に受講料を添えてお申し込みください。電話予約も可能ですが、来館者を優先します。

問・申 (公財)長浜文化スポーツ振興事業団(市民体育館内)(☎63-9806)



第21回文スポ理事長杯 グラウンド・ゴルフ大会

【とき】11月11日(水) 9時～12時30分 雨天時は11月12日(木)に延期

【ところ】神照運動公園 多目的競技場(神照町)

【内容】24ホールの個人ストロークマッチ

【対象】一般男女 【参加費】500円/人 【定員】150人(先着順)

【申込み】10月10日(土)から受付開始。直接または電話で下記までお申し込みください。

問 (公財)長浜文化スポーツ振興事業団(神照運動公園)(☎65-3399)



ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

滋賀県指定有形文化財 「薬師如来坐像(舎那院)」(宮前町) 指定日：平成20年7月23日指定

真言宗豊山派舎那院に伝わる薬師如来坐像です。像高83・2センチメートルの等身像で、目を伏せ、耳は厚みがあり、奥行きのある身体には胸・腹のくびれを明快に彫り込みます。ふくらはぎや右太もも、左袖には翻波式衣文(大きい波と小さい波を繰り返す衣のひだ)を同心円状に重ね、左肘の後ろには渦文渦巻状の衣のひだも見えます。これらは平安時代中期の仏像の特色をよく伝え、特に毛糸の帽子を被ったよつな肉髻(頭のこぶ)の表現は、この時代の天台寺院の薬師如来によく見られます。



▲薬師如来坐像

問 長浜城歴史博物館 (☎63-4611)

別院の一つとして学頭職を務めました。戦国時代に荒廃した舎那院は長浜城主となった羽柴秀吉の保護を受けて復興しますが、この像は天正6年(1578)の播磨出兵の際に秀吉によって書写山(兵庫)の兵庫寺に市から移座されました。円教寺の記録には、根本堂の薬師像がこの争乱の際に失われて別の像と入れ替わったと記され、文献でも播磨からの移座が裏付けられます。

像底には元亨3年(1323)の姫路での一回目の修理と、正徳4年(1714)の長浜での二回目の修理を示す朱書銘があります。長浜八幡宮の境内にある天満宮本殿(放生池の北)は明治維新までは薬師堂と呼ばれ、その本尊がこの薬師如来坐像でした。

数奇な運命をたどり長浜にやってきた本像は、現在も大切に護られています。



▲渡ってくるコハクチョウの家族

10月中旬に、湖北野鳥センター周辺の琵琶湖岸にコハクチョウが初渡来します。毎年越冬のために、繁殖地のシベリアから琵琶湖まで渡ってくるコハクチョウの知られざる超能力を紹介しましょう。

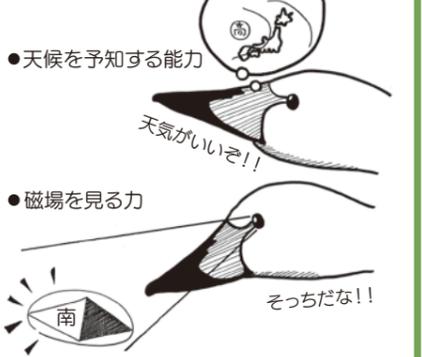
コハクチョウをはじめとする水鳥の多くは、昼間活動する夕力などの外敵を避けるために夜間に渡りまわす。鳥類は、夜は目が見えないと思われていますが、実際はちゃんと見

ながはまの自然 不思議発見!

エピソード 3 コハクチョウの超能力

市内の自然の不思議や、そこに住む様々な生き物の面白い生態などを紹介します。

◎コハクチョウの超能力



えており、星や地形を見ながら方向を定めて渡りを行います。また、鳥類は地球の磁場が見えるという研究結果があり、星や地形以外に地球の磁場を視ることで、方向を間違えずに渡ることができると考えられています。

コハクチョウの渡りは北海道でいったん休憩し、そこから日本各地の越冬地へと分散していきます。驚くことに毎年の琵琶湖への初渡来日の前夜は、必ず北海道から琵琶湖まで天候が安定しており、彼らが広範囲の天候を予測して安全な時に一気に飛んで来ているのではないかと考えられています。

彼らは、これらの超能力を駆使して数千キロもの距離を、迷わず安全に旅を続けているのです。

問 湖北野鳥センター (☎79-12809)